

## 船舶事故調査報告書

平成21年12月17日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）  
委員 山本 哲 也  
委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成21年3月3日 11時30分ごろ
発生場所	青森県平内町安井埼灯台から真方位342° 3,800m付近 (概位 北緯40° 59. 6′ 東経140° 58. 0′)
事故調査の経過	平成21年3月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>かいほう</sup> 海宝丸、3.69トン AM3-15501（漁船登録番号）、個人所有 9.70m(Lr)×2.45m×0.71m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数35、昭和52年4月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年7月9日 免許証交付日 平成20年7月23日 (平成26年7月13日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年3月3日07時30分ごろ、船長ほか甲板員1人が乗り組み、ほたて貝養殖施設の垂下深度を調整する目的で、青森県平内町白砂漁港を出港した。本船は、同漁港沖に設置された養殖施設を順次回り、同漁港北東方沖において、幹綱を左舷船首尾のローラーに通し、浮き玉を取り付けて垂下深度を調整する作業を行っていたとき、甲板員が右舷側に置いてあった浮き玉を取りに行き船長に渡そうと戻ったところ、11時30分ごろ、船長が落水していることを知った。船長は、幹綱をつかんでいたが甲板員が船内に引き上げることができず、13時20分ごろ近くを通りかかった僚船に救助され、病院に搬送されたが、死亡が確認され、死因は急激な体温低下による急性心不全と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 2、気温 0.4℃ 海象：平穏、水温 約5℃
その他の事項	船長は、日ごろ、体調不良を訴えてはいなかった。 事故時、船長は救命胴衣を着用していなかったが、ほたて貝養殖施設の幹綱をつかんでいたため海中に沈むことはなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし あり 死因は急性心不全であった。 船長は、水温約5℃の海中に落水し、急激に体温が低下したことにより急性心不全に至ったものと考えられる。 船長は、ほたて貝養殖施設において作業中、身体のバランスを崩したことにより落水した可能性があると考えられるが、甲板員は船長が落水したところを見ていなかったことから、落水の状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が平内町白砂漁港沖のほたて貝養殖施設において、垂下深度の調整作業中、船長が落水したため、発生したものと考えられる。	